

福生青年会議所

JCI
広報誌

FUSSA EXPRESS

2014年
3月号



思いやりを 心かたちに!



INDEX

- 「児童館へ行こう」レポート①
- 3月清掃活動レポート①
- 瑞穂農芸高校「夢育て講座」レポート①
- 理事長緊急メッセージ!!②
- 4月例会「こいのぼり」のご案内③
- 会員募集中!!③
- 「地域に光る地上の星★」③
- 編集後記③

青年会議所とは?……青年会議所(通称JC)は、「明るい豊かな社会創り」のため、志ある若者が相集い、主体的に多様な活動を行うところです。現在、JCは世界中に存在し、日本では全国711の地域に約4万人の現役メンバーが在籍しています。福生青年会議所は、1978年の発足以来、福生市、羽村市、瑞穂町の2市1町をエリアに活動しています。

会員募集中!! → くわしくは裏表紙を御覧ください。

第 503 回3月例会 「児童館へ行こう2014」 ～ものづくりから友づくりへ～

去る3月15日、3月例会「児童館にいこう2014～ものづくりから友づくりへ」が、福生武蔵野台児童館にて開催されました。

今年度もワーカーズコープ様と共に、地域の活性化を狙い、今回は講師に木工アーティストの土屋翔太郎氏を迎えて木工工作を行いました。

限られた時間の中で完成に近づけることはとても大変でしたが、こどもたちに大人との共同作業の楽しさ、成功体験を感じて頂き、参加された皆様におかれましてはグループワークでのふれあいや完成への導きを学んで頂けたと確信しております。

この体験が今後の子どもたちの成長、またJC運動のツールのひとつになれば設営委員会としてこんなにうれしいことはありません。

今後も地域に我々の運動を発信し、またメンバーが楽しく学べる運動を続けてまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。

参加された皆様、本当にありがとうございました。

地域コミュニティ委員会
委員長 野口祐貴



3月清掃活動のご報告とお知らせ

福生青年会議所では、毎月最終日曜日、まちの清掃活動を行っています。3月23日(日)の清掃活動では、福生市立武蔵野児童館を管理運営するワーカーズコープの皆様との協働で活動いたしました。ワーカーズコープからの参加者9名と、多大なご協力をいただきました(表紙写真)。

この清掃活動は2013年から継続しているもので、目的として次の3つの柱があります。

- 一、福生青年会議所メンバー相互の絆を深めること
- 二、福生青年会議所の存在、活動を地域の方々に知っていただくこと
- 三、地域の多様な人・団体との交流・協働による地域貢献の機会として、JC運動の輪を広げること。

今後も、多くの方との交流、協働の機会として、継続、進化する活動展開を志しています。会員、非会員問わず、皆様のご参加ご協力をお願い申し上げます。 総務広報委員会 委員長 伊藤章裕

3月事業「都立瑞穂農芸高校 夢育て講座」のご報告

3月13日(木)、福生青年会議所事業の一環で、「夢育て講座」の講師として都立瑞穂農芸高校を訪問いたしました。

この講座は、農芸高校の生徒たちが「働く」ことについて様々な職種の方から体験談を聞き職業意識を醸成すること、また生徒が学ぶ専門学科に関わる分野とは異なる仕事についても広く学ぶことで、生徒の社会に対する視野を広げること、これらを目的に例年開催されているものです。

当日は、多くのシニア会員、現役会員が参加し、それぞれ講師として、自らの仕事にかける情熱ややりがい、地域や日本の未来への思いなどを熱く語り、生徒たちは真剣に聴き入っていました。さらに身近な話題で生徒たちと心の触れ合いを図る時間を持つこともできました。とても成果の大きな1日となり、たいへん嬉しく存じます。ありがとうございました。

地域コミュニティ委員会 運営幹事 大塚武則

【特別寄稿】理事長緊急メッセージ

今こそ「先を見据えた計画性」と「目の前の課題に対応する行動力」を

去る3月20日、懇親会も兼ねて福生青年会議所の未来についてじっくりと語り合いました！という目的で、メンバーに集まってもらう機会を設けました。理事メンバーを中心に、理事会後の遅い時間にも関わらず、各委員会メンバーにも参加していただきました。実際に開催するまでは、理事長としてこの会を開くべきかどうか悩みましたが、結論として大変良かったと思っています。

メンバーからは、現状の活動に対して普段から抱えている胸の内や福生青年会議所の将来を見据えた貴重な提言、また会員拡大をはじめとする目の前の課題をまずは解消すべき等、様々な角度から多種多様な思い、考えを聞かせていただきました。

何事も真の成功を納めるには、「目の前の課題をこなす行動力」と「先のことを見据えた計画性」の両方が必要不可欠であると私は考えます。

このことはビジネスであっても、個々の人生であっても、青年会議所の活動であっても、同様だと思います。製造業である私の会社に例えるなら、極端に短い納期のような難しい注文に対して、一定の品質で必ず納期限内に納めるための「目先のことに対処する能力」は、私自身比較的高い方だと自負しています。しかし、「先を見据え長期的な経営計画を立てること」は残念ながらあまり得意ではありません。ですから、経済が落ち込んだり、メーカーの製造ラインそのものが海外に出てしまったりすると、とたんに仕事の受注量に影響が出てしまい、その都度「どうしよう」と頭を抱え、経営者会議が始まってしまいます。

同業者の中には「目の前の仕事を一つひとつコツコツこなしていけば必ず先が見えて来る」と言う人もいます。間違っているとは言えませんが、それでは良くて現状維持、いや、私にはそれすら難しいように思われます。本来であれば、先を見据えて幾つかプランを用意すべきでしょう。「仮に予測が外れても次はこうする」「これが上手くいかない場合はこうする」と危機を回避し、次なる手を打つための複数の選択肢を用意するのです。さらには5年後、10年後には会社はこうなっている等、長期的なビジョンを立てるのが理想です。

青年会議所運動においても「目の前の課題をこなす行動力」と「先のことを見据えた計画性」の両方が不可欠だと私は思います。

私たちが暮らすこの地域社会には様々な課題があります。私たち福生青年会議所にも、一時的なメンバーの減少など目先の課題が存在します。先ずはその目に見える課題をメンバー一丸となって解決するための行動が必要でしょう。

しかし、それだけではない。それと同時に「先を見据えた計画」を構想する必要があるのです。先述のようにリスクヘッジとしての意味合いもあります。また、先のことを見据えることにより、見据えた位置から逆算して今やるべきことが見えてくるといった利点もあると思います。

私たちの福生 JC もメンバーの入れ替わりにより色々な意味で転換期にあると思っています。また東日本大震災以降、日本人の人間関係や地域への価値観が大きく変化してきていると言われていきます。そのような時だからこそ改めて JC の本質や存在意義など根本的な部分をメンバー一人ひとりが改めて再認識し「目の前の課題をこなす行動力」と「先を見据えた計画性」の双方をもって、明るい豊かな社会への実現のために歩もうではありませんか。

福生青年会議所 第37代理事長 南場 伸輔

花と水と空、こいのぼり祭り

日時：平成26年4月19日(土)、20日(日) 各 11:00～

会場：羽村市宮ノ下運動公園(羽村市羽加美4丁目 875番先)

- ※ 地域活性化を目的に、空にたくさんのこいのぼりを泳がせるイベントです
- ※ 協賛いただける方、鯉のぼりを提供していただける方を募集中です
- ※ 当日は、無地の鯉のぼりをペイントする「オリジナル鯉のぼりづくり」のコーナーもあります。お子様も連れて、ご家族皆様でご来場ください。

新入会員募集中！！

- ★青年会議所は20歳～40歳の「品格ある青年経済人」であればどなたでも入会できます。
- ★福生青年会議所では、**福生市・羽村市・瑞穂町**の2市1町およびその近隣（青梅市・あきる野市・昭島市・武蔵村山市・立川市・入間市等々）に在勤、在住の方の入会を募集しています。
- ★例会などイベントの参加、見学、お問合せ、**大歓迎。お気軽に！**

武信用金庫
手打そば むらやま
瑞穂町役場入口
新青梅街道

手打そば むらやま
tel.042-557-8432

- 住所 瑞穂町 箱根ヶ崎 2273 番地 27
- 営業 11:30～14:30、17:30～20:30
- 月休(休日の場合は火)
- 駐車場 4台

蕎麦の味に加え村山貴則さんの人柄に感動を覚え、帰途に就いた。

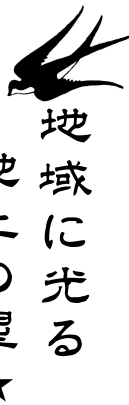
蕎麦の味に加え村山貴則さんの人柄に感動を覚え、帰途に就いた。つまずき、既存の人の流れに迎合して駅前などに店を出すのではなく、「自らの味で多くの人惹きつけ、人の流れを創り出そう」という発想である。この気概、この高い志こそが「本物の味」を産み出す源泉なのであろう。

瑞穂町を選んだ理由は、「瑞穂町は国道や幹線道路の交差する地点。味が評判になれば、遠くからでも来客してもらえらる。」

日本料理店等で10年の修行を積んだ後、初めは立川市で開業していた村山さん。4年前、移転先として瑞穂町を選んだ理由は、「瑞穂町は国道や幹線道路の交差する地点。味が評判になれば、遠くからでも来客してもらえらる。」

あらゆる製法、原材料にこだわり抜いている。その味、その感動は「むらやま」でしか味わえない。

瑞穂町で「手打そば むらやま」を営む村山貴則さんを訪ねた。「むらやま」の蕎麦は、いつ食べても感動する。



◆編集後記◆

公益社団法人日本青年会議所東京ブロックのアカデミー研修委員会に出席している。これは青年会議所の基本を学ぶ委員会であり、委員会の中に今年度は4つの「塾」がある。入会3年未満の出席者は「塾生」となり、それ以外の「塾長」に師事する▼筆者が師事する「ライター塾」の宮崎寛康塾長は、日野青年会議所から出向している。日野青年会議所は、塾長の他にも複数の出向者を出している。まちづくりの取り組みでも、たいへん活気を感じられる会議所の一つだ▼懇親会に来てくれた亀山孝一理事長に聞いたところ、日野青年会議所の正会員数は三十名に過ぎないという。「会員拡大は日野JCCにも大きな課題です」亀山理事長は顔を曇らせた▼「僕は拡大で目標達成できないとJCC辞めると誓った。日野JCCに帰れないよ」宮崎塾長が少しおどけて言ったあとと続けた「拡大というのは本来会員を増やすことじゃない。拡大とは、あくまで「JCC運動の拡大。運動を理解してくれる人、協力してくれる人を増やす▼会員がいくら増えても、JCC運動を理解しない人ばかりでは無意味。全員がJCC運動をよく理解し、会員以外にもJCC運動を理解してくる人が地域にたくさんいれば、大きな運動ができる。そうならば、会員数なんか自然と増える」▼アカデミー研修委員会では多くのことを学ぶ。JCCの原点。敗戦の焦土と化した東京を前に「戦後日本の復興は我々青年の責務である」と立ち上がり、見事再び祖国に生命の息吹を吹き込んだ先輩たちの歴史を忘れてはならない。福生青年会議所も、今こそ真剣に本格的なまちづくり立ち上げる時ではないか(〇)

FUSSA EXPRESS

発行所 福生青年会議所 総務広報委員会 福生商店街協同組合会館1階
住所 〒197-0022東京都福生市本町112-2 TEL: 042-551-6004 Email: info@fussajc.com

福生JCC で検索 検索